

令和3年度第2回浜松市環境審議会 会議録

- 1 開催日時 令和4年3月8日（水） 午後1時30分から午後2時15分
- 2 開催場所 浜松市鴨江分庁舎2階 会議室
※本会議はWeb会議方式にて開催した。Web会議出席者は「3出席状況」のとおり。

3 出席状況

審議会委員

Web	荒巻 太枝子	静岡県シェアリングネイチャー協会	
Web	岡田 正利	浜松市自治会連合会	
○	田中 浩之	横浜創英大学 こども教育学部	会長
Web	中村 美詠子	浜松医科大学 医学部	
Web	野中 正子	浜松市消費者団体連絡会	
Web	藤井 康幸	静岡文化芸術大学 文化政策学部	
○	藤本 忠藏	浜松医科大学 医学部	副会長
Web	松浦 敏明	静岡県産業廃棄物協会	
Web	水谷 洋一	静岡大学 地域創造教育センター	
Web	渡邊 記余子	浜松商工会議所	

事務局

環境部	藤田部長、松下参与、嶋野環境部次長（環境政策課長）
環境政策課	鈴木秀幸専門監（課長補佐）、辻主幹、南堀
ごみ減量推進課	鈴木浩之課長、飯田専門監（課長補佐）、鈴木亨主幹
廃棄物処理課	石原課長、河合副技監

- 4 傍聴者 4名（報道2名を除く）
- 5 議事内容
- ① 諮問事項
- ・浜松市一般廃棄物処理基本計画（改定版）に係るパブリック・コメント実施結果及び計画の修正案について
- ② 報告事項
- ・家庭ごみ有料化の検討状況に関する説明及び意見聴取の報告について
 - ・ごみ減量推進部会の廃止について
 - ・浜松市役所環境関連部局の組織改正について
- 6 会議録作成者 環境政策課企画調整グループ 南堀
- 7 記録の方法 発言者の要点記録
- 8 会議記録 有（公開）

1. 開会

2. 挨拶

藤田環境部長

《部長挨拶》

事務局

《配布資料確認》

続いて、本日の会議の成立について、審議会委員 10 名のうち田中会長、藤本副会長の 2 名が会場での出席、8 名が Web での出席をいただいている。過半数に達しているの

で、浜松市環境審議会規定第 4 条第 2 号により、審議会が成立することを報告する。
ここからの議事進行は、浜松市環境審議会規定第 4 条第 1 項により、田中会長に願

田中会長

議事に入る前に、本審議会の公開について委員にお諮りする。

本審議会では、個人情報等の非公開情報を審議する予定がないため、議事を公開する。
異議のない方は挙手をお願いする。

全委員

(異議なし)

田中会長

了承をいただいたため、本審議会は公開とする。

事務局は、傍聴者があれば入室をお願いする。

(傍聴者入室)

田中会長

本日の会議録は、事務局で作成し浜松市附属機関の会議録の作成及び公開に関する要
綱に基づき、発言した委員の記載の上公開する。

3. 議事

審議事項① 浜松市一般廃棄物処理基本計画（改定版）に係るパブリック・コメント実施結果及び 計画の修正案について

事務局（ごみ減量推
進課）

《資料 3-1、3-2、3-3 に基づき説明》

藤本副会長

資料 3-1 の 3 (1) の文言が少し分かりにくいのではないかと、『プラスチック資源の
循環を推進するため、プラスチック資源の分別収集に係る制度内容について、情報収集
と本市においての実施を検討します。』とあるが、情報収集と本市における実施の検討
を並列で進めるのか。

事務局（ごみ減量推
進課）

この部分の修正意図としては、元の文章では『国の方針を注視しながら』としていた
ところ、先般プラスチック資源循環促進法の概要が公表されたが、制度設計の詳細がま
だ明らかでないため、引き続き制度の詳細について情報収集するとともに、本市にお
ける実施を検討するというところで、下線部分を置き換えたものである。

田中会長

修正案ということで、皆様からの意見が反映されたものとして、きちんと説明してい
ただければよいと思う。

中村委員

資料 3-1 について、案に対する反映度の『その他』が 67 件とかなり多いが、反映度
の『その他』というカテゴリについて補足説明をお願いしたい。

事務局（ごみ減量推進課） 案に対する反映度の『その他』は計画に反映・修正等しないとした意見である。この分類については、パブリック・コメント制度の中で定められている。

報告事項① 家庭ごみ有料化の検討状況に関する説明及び意見聴取の報告について

事務局（ごみ減量推進課） <資料4に基づき説明>

中村委員

市制作の説明動画を拝見したが、とてもよく出来ていて、いい試みだと感じた。意見にもある雑がみの回収拠点についてだが、『雑誌』と表示されているところと『雑誌・雑がみ等』と書かれているところがあると思う。今回の動画を視聴して『雑誌』の回収場所に雑がみを出してもよいことを初めて知ったので、簡単にできると思うので民間の拠点ではあるが『雑がみ』表示を一緒に出すよう指導してもらいたい。

事務局（ごみ減量推進課） 同様の考えをお持ちの方が多くはないかと思うので、検討させていただく。

事務局（環境部長） コロナウイルスの流行もあり、多様な情報発信の観点から今回初めて動画での説明を試みた。動画の視聴回数は、2月5日から公開して1,300回ほどで（3月8日現在）、一定の効果はあったものと思う。今後も引き続き、情報発信の方法について模索していく。

田中会長 一つ一つの積み重ねが重要かと思うので、引き続き取り組んで欲しい。

報告事項② ごみ減量推進部会の廃止について

事務局（環境政策課） <資料5-1に基づき説明>

報告事項③ 浜松市役所環境関連部局の組織改正について

事務局（環境政策課） <資料6に基づき説明>

田中会長

カーボンニュートラルという言葉について、市民が耳にすることも当然あると思うので、分かり易く説明する工夫が必要だと思う。

事務局（環境部長） 推進本部の設置については、集中的にこの事業を進めるため、概ね5年間の時限付としている。昨年は国の2050年カーボンニュートラル宣言や地球温暖化対策計画の二酸化炭素排出量削減目標46%を掲げたこともあり、浜松においても市の力を見せるため設置に至った。従来の環境部の取組は周知が中心になってしまい、産業界へのアプローチが弱かったところであるが、推進本部では現在の産業部エネルギー政策課と一緒にすることで、より実際的な取り組みを進めていきたいと考えている。

田中会長 以上ですべての議事が終了した。全体を通して、何かご質問、ご意見等はあるか。
特にないので、進行を事務局にお返りする。

4. 閉会

事務局（環境政策課） 本日は、長時間にわたりご審議いただくとともに、貴重なご意見を賜わりお礼申し上げます。

以上で本日の環境審議会を終了とする。